

学科名	声優・演劇科
コース名	
授業科目	応用演技Ⅰ
必選	選
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	60
単位数	2
担当教員	オーハシヨースケ
実務経験	有
実務経験職種	俳優・演出・演劇教育家
授業概要	インボディメント・エクササイズ ～身体性を深めるカラダ作り～ インボディメント(EMBODIMENT)の視点、すなわち心とカラダを一つに捉える視点から ドラマする力、演劇性を深めめる身体を練り上げるカラダ作りをする。
到達目標	相手を受け取る、言葉やイメージを受け取とれるカラダの感受能力をプロとしての俳優・声優、身体表現者の域に高める。 想いをリアルに身体で表現できる、象徴的な身体表現ができ声と動きとキャラクターを一体的に表現できる、ドラマを創る プロとしてのカラダのしなやかさと強度を身を高める
授業方法	毎回基本フィジカルトレーニングとして、3つのムーブ、3つのほぐし、言葉の体操(アハメーション)を実施。 カラダ＝ココロの原則に則り、各回一つのテーマに沿ったEMBODIMENTエクササイズを実施する。
成績評価方法	授業での積極性、こちらが出す課題への適格なプレゼンテーション、エチュードの表現力等を採点していく。 また、振り返りとしてレポートを提出してもらい、採点をする。
履修上の注意	フロアシューズなど上履き、ジャージ等体操着を着用。アリーナを他学科と共同使用なので使用上のルールを守る。
教科書・教材	ベーシックテキストを使用。必要に応じて印刷物を配布。

授業計画	
第1回	ガイダンス 立つ～自分の重心を知る～重量を感じる 足裏で自分の重さを知るところから始める
第2回	受ける・感受する：重力を感受する相手を受ける～後ろ倒れ～ 昆布と波 2人組手裏剣で知るコミュニケーションの原則
第3回	脱力：筋肉弛緩法 脱力倒れ、 ねによろ、ぶら下がり
第4回	歩く：ふつうに歩く、後ろ向き・横向き歩き キャラクターと歩き方：大きく歩く、小さく歩く、4つのキャラ別歩き方
第5回	ゆだねる：金魚ゆすり 3人組振り子 プライندウォーク
第6回	投げる：声息なげ、石投げ、ボール投げ 自分を投げ出す(前後左右倒れ) 未来に一步踏み出すカラダ自己とうき
第7回	押す引く：パントマイムの壁押し、気のボールの押し引き
第8回	アンサンブルと身体性：すり足で出会いと別れ～仕掛け開き 生垣を作る 手だけで作るカイロスとクロノス マシーンと生花
第9回	ジャグリングと身体性(1) 2つ玉、3つ玉 だめだできない、苦手だと言わない、インナーゲーム理論
第10回	キャラクターと身体性(2)：マスク・仮面を使ってカラダを創る カラダの仮面を作る
第11回	象徴的フォルムと身体性：象徴的フォルムは心の形 今日の海、不思議な動物園
第12回	感情、情動、体性感覚と身体性：感情とからだ。非認知的能力とは？大泣き、激怒、喜怒哀楽の身体(全て声は無し)
第13回	声を身体化する：オイリュトミーの身体性。 動物発声、動きとカラダ、アワ唄 声とカラダの関係 響き歩き
第14回	癒しと身体性：癒しのフィジカル・スキル 癒しのヨーガ、マッサージング
第15回	自己実現の身体性：現在過去未来のカラダ カーテンコール 身体でイメージする